

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西宮市立上ケ原小学校（兵庫県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化に向けた単元づくり

単元の計画を児童と共有して見通しを立てる

「やまなし」学びの道しるべ 2・3時間目

課題 <「イーハトーヴの夢」を読んで、宮沢賢治はどんな人なのか調べて、まとめよう。>

【学習課題】

課題を確認し、自分のめあてを決める。

【情報収集】

・「イーハトーヴの夢」「宮沢賢治の歴史」から、**宮沢賢治のしたことや考えたこと**からどんな人かについて情報を集める。

- 賢治の生き方に強く影響を受けた「重大な出来事」は何か？
- 影響を受けた「重大な出来事」によって、どのように考えが変わったのかな？
- いつ、どんな出来事が起こって、賢治はどんなことを思ったのかな？
- 宮沢賢治は、何を大切に生きてきたのかな？

※「やまなし」に書いてあることも、つなげて考えられるとハイレベル!!

【整理・分析】

- プリントにまとめる。
- 仲間と比べてみる。聞いてみる。なるほど!と思った意見はいただく。

【まとめ・ふりかえり】★「なぜ、宮沢賢治は物語のタイトルを『やまなし』と名づけたのか。」について考えが変わったか。

・まとめ・ふりかえりシートに書く。・自分の現在地（今日はどこまで学べたか）を確認する。

C: Bに満たない。

B: 課題や上の★に対しての答え（まとめ）が書いている。

A: Bに加え、自分の考えや思い（ふりかえり）が書いている。

S: Aに加え、だれがなんと言っていたのか。

【事例①】6年 国語科

【教材名】「やまなし」「(資料)イーハトーヴの夢」

【留意点】

- ・叙述を基に意見を出すことを押さえた上でICTを活用。
- ・児童が学び方（誰と、どうやって、どのように学ぶか）を選択できる環境づくりと事前指導。
- ・自分の考えを出す手立てとして、見通しを持たせ考えを出すヒントとなる資料「学びの道しるべ」の提示。

クラウドを活用して児童の意見を集約した。その上で他者参照をして、学級内でつながっていく場面が多く見られた。

情報を集約して他者参照がしやすい環境

やまなし「なぜ、宮沢賢治は物語のタイトルを「やまなし」と名づけたのかについて解き明かそう。」

「やまなし」学びの道しるべ 8・9時間目

課題 <なぜ、宮沢賢治は物語のタイトルを「やまなし」と名づけたのかについて解き明かそう。>

【学習課題】課題を確認し、自分のめあてを決める。

【情報収集】

・「やまなし」や「イーハトーヴの夢」から、なぜタイトルが「やまなし」なのかを考え、情報を集める。

① 宮沢賢治によって「やまなし」とは？「やまなし」とは？

② 物語に登場する登場人物、何を思っているのかな？

③ 登場人物の言葉や行動に、注目してみよう!

④ 宮沢賢治は、何を大切に生きてきたのかな？

【整理・分析】プリントにまとめる。・自分の現在地（今日はどこまで学べたか）を確認する。

【まとめ・ふりかえり】・まとめ・ふりかえりシートに書く。・自分の現在地（今日はどこまで学べたか）を確認する。

C: Bに満たない。

B: 課題に対しての答え（まとめ）が書いている。

A: Bに加え、自分の考えや思い（ふりかえり）が書いている。

S: Aに加え、だれ（仲間）が、何と言っていたか。

やまなし めあて・ふりかえり... R062024 > 6年生

8・9時間目【21～30... personal > nms64019-ki_ed...

8・9時間目【31～38... personal > nms64019-ki_ed...

クラウドで状況を把握してフィードバック

